

自分と未来は変えられる

校長 浦部 利明

ある商業高校の校長先生が定年で退職される際に、「他人と過去は変えられないが、自分と未来は変えられる」という言葉を残されました。大きな可能性を秘めた生徒たちを奮起させる、まさに名言です。三商への進学を志す中学生の皆さんには、ぜひ自分と未来を変える意気込みで本校に入学してほしいと願っています。

さて三商では、高校に入ったら自分と未来を変えたいと願う生徒たちを全力でサポートしています。まず、簿記や情報処理をはじめとする資格を必ず取得できるように、授業はもちろんのこと補講でも親身になって指導をくり返しています。また、就職や進学を100%実現できるように、3年生になると履歴書の書き方から面接や作文の練習まで、夏休みを返上して進路指導を行っています。さらに、将来の自分の目標を明確に描けるよう、1年次と2年次に「ライフビジョン」という新しい学校設定科目を設け、キャリア教育に重点を置いています。こうした三商で、ぜひ自分と未来を変えることにチャレンジしてください。

三商祭（文化祭）の売上金を寄付しました

11月28日（木）、三商の生徒会役員が東陽町にある江東区社会福祉協議会を訪れ、三商祭（文化祭）の売上金81,888円を寄付しました。江東区社会福祉協議会は福祉についての相談、さまざまな福祉サービスの提供やボランティアセンターの運営などを行っており、三商生も福祉体験学習では車いす体験やアイマスク体験、手話の学習などで毎年お世話になっています。これからも地域の福祉活動のお役にたちながら、それぞれの立場や心情を思いやり、互いに支えあうことの素晴らしさに気付くような教育活動を進めていきます。



三商の授業を紹介します（第4回 総合実践）

3年生になってから履修する商業科目で、お昼休みをはさんで3時間連続の2クラス合同によるハードな授業です。2人ペアになって模擬会社（江東商事や墨田商事、浪速商事や吹田商事など）の社長と社員の役割を分担し、東京と大阪の間で架空の商取引を行います。取引に伴い代金の決済が必要なので、中間には銀行の役割を果たす生徒もいます。電話で発注を受けてから納品や代金支払いまでの一連の商取引をシミュレーションするので、取引の進展に応じて本物の仕訳帳（しわけちょう）や現金出納帳（げんきんすいとうちょう）に記帳するとともに、小切手（こぎって）も発行します。また期末には決算をしなければならぬし、その日の授業の最後には営業日誌の記入が待っているのです、どの生徒も真剣です。

これまでに学習してきた簿記やビジネス実務の知識を、こうしたシミュレーションを通じて実践的に身に付けることが「総合実践」の目的です。この授業をマスターすれば、企業の経理事務を担うことができるので、企業に就職して経理を担当している三商の卒業生たちは、「総合実践」が一番役に立った授業だと口をそろえて評価しています。



手前が社員、奥が社長です



こちらが銀行です



先生が赤ペンをもって指導しています

手前が大阪、奥が東京

大学合格者による座談会

4年制大学に指定校推薦で合格した2人に、お話をうかがいました。

＜出席者＞

齋藤くん（明治学院大学 経済学部）

伊藤さん（中央大学 商学部）

司会 進路指導部 堀内先生



左から、齋藤くん、堀内先生、伊藤さん

司会 いつごろから大学進学を志望していたのですか？

齋藤 卒業後は就職するつもりで三商に入学したんですが、気が付いたら全商簿記1級に合格するなど指定校推薦の基準に達したので、3年生の1学期に大学に進学してもっと勉強しようと思いました。

伊藤 中学生のころから大学進学を志望していました。

司会 進学先の大学や学部を決めたのは、いつごろですか？

齋藤 大学進学を決めた時点で、高校時代の勉強をもっと深められる経済学部を選びました。



伊藤 1年生のころから中央大学に指定校推薦で進学したいと考えていましたが、商学部を決めたのは2年生の夏ごろです。

司会 指定校推薦という受験方法のメリットは何だと思いますか？

齋藤 書類審査だけなので、一般入試よりも少ない負担で入学できることです。特に、受験目的だけの勉強をしなくても済むところが、とてもありがたいです。

伊藤 校内選考にパスすれば、特別な事情がない限り必ず合格できるのがメリットだと思います。

司会 二人の進学先の大学の推薦基準は比較的高い方ですが、これをクリアするためにどんな努力しましたか？

齋藤 3年間の努力の積み重ねです。一日一日の授業を大切にしてきました。

伊藤 私も毎日の授業を大切に、分からないところがあれば、その日のうちに先生に質問し、納得するまで教えてもらいました。

司会 ところで、商業高校から大学の商学部や経済学部に進学する際に有利な点は何だと思いますか？

齋藤 商業高校で商業科目を勉強し、さらに資格を取って商学部や経済学部に進学すると、大学の勉強が非常に楽になると思います。

伊藤 簿記や情報処理を高校時代に学んでおけば、普通高校から進学する人よりも、さらに高い目標に到達できると思います。

司会 大学生になったら、どんなことに挑戦したいですか？

齋藤 高校時代にできなかったので、社会勉強のつもりでアルバイトをやりたいです。自宅で弟や妹に勉強を教えているので、家庭教師をやってみようと考えています。

伊藤 中学校時代にはバレーボール部に入っていたので、スポーツ系のサークルに入ってみようと思います。いろいろなスポーツに挑戦してみたいです。

司会 大学卒業後の進路について、何か考えていますか？

齋藤 三商で簿記の面白さを知ったので、大学では語学の力を付けて貿易会社や流通業界に就職したいと考えています。

伊藤 公認会計士を目指しています。将来は、自分の会計事務所をもっとみたいです。



司会 ところで皆さんは、中学時代にどんな理由で三商を進学先にしたのですか？

齋藤 中学校時代の成績はあまりよくなかったため、就職率100%の三商に入って卒業後は就職しようと思っていました。同じ商業高校の中でも、部活動や行事が活発なのが魅力でした。

伊藤 大学進学を考えていましたが、いずれ社会に出て働くときに役立つ簿記などの資格を取るためには商業高校が適していると思い、雰囲気の良い三商を選びました。

齋藤 そうですね、大学に進学しても就職しても、必ず将来の役に立つ商業科目を勉強できるし資格も取れるので、今では三商に入学してよかったと実感しています。

司会 それでは、今日はどうもありがとうございました。皆さんの大学進学後の活躍を期待しています。

今後の学校説明会のご案内

- 学校説明会 1月10日(土) 9時30分～11時(受付9時～) 事前申込はいりません。上履きを持参してください。入試ワンポイントアドバイス(国語・数学・英語・作文)も実施します。



発行 東京都立第三商業高等学校 全日制課程
 住所 〒135-0044 東京都江東区越中島3-3-1
 電話 03(3641)0380 FAX 03(3641)0879
 URL <http://www.daisanshogyo-h.metro.tokyo.jp/>